

Rotary Yachiyo



2022-23 年度国際ロータリーテーマ

「イマジン ローター」

2022-23 年度クラブテーマ

「ロータリーを学び、語り、

奉仕を実践していこう。"Think"」

週 報 第 2 7 0 1 回

2023 年 6 月 9 日

八千代ロータリークラブ CLUB NO.15070

今回例会行事

テーマ：引継委員会

担当：会長・幹事

次回例会 6 月 1 6 日

テーマ：委員会活動報告

担当：会長・幹事

◆◆◆第2700例会◆◆◆

司会 中島 貞好

「我らの生業」

会長挨拶

会長 杉 晟

皆さん、こんにちは。

先週 18 日、19 日 4 年ぶりのクラブ親睦旅行が滞りなく終わりました。池田親睦活動委員長ご苦勞様でした。中村幹事のサポートありがとうございました。そして参加の皆さんのご協力ありがとうございました。念願叶った長良川鵜飼、楽しかったですよね。岐阜長良川鵜飼は 1300 年の歴史と伝統があるそうです。8 世紀に日本国内で成立した「古事記」、「日本書記」などに、鵜飼に関する記述がみられるようです。また、鵜飼を「見せる(魅せる)」ことでおもてなしの手法として最初に取り入れたのが、織田信長だそうです。焚火で明かりを取りながらの鵜飼は幻想的でした。しかし、今回の旅行ではこの魅せるおもてなしの手法はなかなか理解できませんでした。私は参加できなかったのですが二次会、2.5 次会がいろいろのハプニングが重なり大変楽しかったようです。

二日目は本降りの雨でした。予定変更で世界最大規模の淡水魚水族館を見学しました。建物の 4 階から 1 階までを長良川の上流、中流、下流に住む淡水魚を見ながら通路を下っていくのも楽しかったで

す。そして、アフリカのコンゴ川、タンガニーカ湖、インドシナ半島のメコン川、そして世界最大の大河アマゾン川に住むいろいろの淡水魚に子供に戻ったような感動がありました。やっぱり旅行は楽しいですね。来年が待ち遠しいです。

さて、前回お話をした 7 つの習慣遣ってみては如何でしょうか。著者の心を理解しながらゆっくりと時間をかけて習慣作りを始めていくのも、思い出しながらになります。楽しみながらやってみては如何でしょうか。

今日はお願ひ事があります。

ロータリー vs. ポリオ

今年度の八千代ロータリークラブ活動計画書に記載の通りポリオ根絶のための奉仕活動の一環としてポリオプラスへの寄付を募ることにしております。また、昨年 12 月 9 日例会での会長挨拶ではロータリーはパートナー団体との長年にわたるポリオ根絶活動の歴史をお話ししました。なぜならばポリオがこの世からなくなれば多くの子供の命が救われます。またポリオ感染予防ワクチンに使う莫大なお金を、ポリオ以外の世界でよいことをすることに使うことが出来、大きな貢献ができることとなります。ポリオの根絶は、長年にわたってロータリー会員が力を注いでいる活動です。パートナー団体とともに、私たちは 122 カ国、世界 25 億人以上の子どもにポリオ予防接種を行ってきました。活動開始以来、世界の発症数は 99.9% 減っていますが、ポリオはまだ根絶されていません。「あと少し」です。私たちは、目

標を実現するまで決してあきらめません。とロータリー財団が覚悟を決めて必死になっております。我々が、このロータリー財団の意向に沿って行くためにはできるだけ多くの支援、即ち寄付を必要としていることだと誰にでも理解できることと思います。八千代ロータリークラブの会員の皆さんの賛同で現在 35 名の方がポリオプラス寄付に参加していただいております。まだ十分だと思っておりません。寄付の金額は個人によって異なっておりますが、寄付金額に関わらず、クラブの取り組みに参加できることになり、クラブとしてポリオ根絶の一端を担うことに貢献したことになります。SNS や Eメールを使って家族や友人に寄付を募ることもできますが、出来得る限り自分たちで達成したいと願っております。わが女房が少し寄付をするとおっしゃっており、山口さんに確認すると寄付者本人自ら直接財団に寄付することになっているそうです。私が代行することは可能ですがあまり意味をなさないのです、その分私の寄付とさせていただきます。どうか皆さんポリオプラスの募金へのご協力をよろしくお願いします。

幹事報告

幹事 中村賢治

- ・先週は4年ぶりの親睦旅行、参加頂いた会員の皆さまと楽しく過ごす事ができました。ご準備頂いた親睦活動委員会、SAAの皆さま、ありがとうございました。
- ・本日の例会後、メルボルンで開催されます世界大会へ4名の会員が出發されます。気を付けてご参加下さい。
- ・次週6/2の例会はお休みです。
- ・6/9に、2名の入会式を行います。
- ・6/9理事会開催
- ・6/9引継ぎ委員会です。今年度委員長は次年度への引継ぎ事項、また次年度の委員長は質問事項がないかどうかの確認をお願い致します。
- ・次年度のロータリー手帳が届きましたので希望者は事務局へお声がけ下さい。

委員会報告

次年度幹事

稲山雅治

次年度の活動計画書作成にあたり、会員名簿確認をお願いします。回覧しますので修正のある方はご記入下さい。

R財団グローバル補助金

カウンセラー 君塚欣哉

奨学生の松井さんからレポートが届きましたのでご紹介します。



3月から4月初旬までイスラエルに滞在していました。シガソ大学では1年生の最終学にMAP(Multidisciplinary Action Project)と呼ばれる実践型の授業があります。今まで学んだ内容を活かして、米国内外の実際の企業の課題を解決するという授業です。自分の場合は第一希望であった、イスラエルの医療機器を開発するスタートアップ、phenofASTという会社の米国展開を支援するプロジェクトにアソシエイトされました。イスラエルという国がスタートアップという観点で世界中から注目を集めているのはご存知でしょうか。四国地方の広さの人口900万人程度の国に約8000社ものスタートアップがひしめくイスラエル。この数はアメリカに次いで世界で二番目に多いです。また更に驚くべきことに、エコノミー企業（時価総額10億ドル以上の企業のこと）の排出率はアメリカを超えて世界第一位です。日本も経済活性化の為に、岸田政権が令和4年をスタートアップ元年とする、と打ち出しています。日本をはじめ世界中の企業や政府関係者がスタートアップを支える環境を学ぼうと視察に訪れています。シガソもやっと春を迎え、桜が咲く季節になりました。桜を眺めると日本が恋しくなります。それでは皆様、また次回お会いする時まで。 松井智世

親睦活動委員会

委員長 池田 建

皆さまのご協力のお蔭で親睦旅行も無事に終える事が出来ました。大変有難うございました。

お祝い

本人誕生日：朝戸会員

結婚記念日：宮田会員・江口会員



例会行事

職業奉仕委員会委員長 日下部良夫

本日は、職業奉仕委員会2回目の卓話です。よろしくお願い致します。

テーマ：二宮尊徳こと二宮金次郎は。
日下部良夫会員



1月の例会では RLI 推進委員長の周藤様よりリーダーシップ研究会のお話をさせて頂きました。八千代ロータリークラブからは、飯生委員、杉会長、江頭会員が参加されています。今回はRLIの委員長の卓話でしたので、今回私の卓話となると職業奉仕とは何を話したらよいのか考えました。そこで思い出したのは、二宮尊徳こと二宮金次郎であります。皆様方の方が詳しいことと思いますが、聞いていただければ幸いです。

本名は二宮金次郎であります。かやま（現小田原市）二宮尊徳は 1787 年神奈川県足柄上郡栢山村にて裕福な農家に生まれ教育にも恵まれて育ちました。しかし、不幸にして異常天候のため酒匂川の氾濫が度重なり、荒廃した田畑の回復もかなわず父母は心身心労で相次い

で死去、裕福な家庭から一家離散という事態に陥りました。（16 才）

その後、伯父万兵衛の家に預けられますが、逆境にもめげず卓越した才能を発揮します。（身長 5 尺 5, 6 寸筋骨たくましい偉丈夫と伝えられる）作業の合間に、稲の捨て苗や菜種油を空き地に植えて収穫、毎年その収益を増やして田畑を買戻し、成人後間もなく家の再興に成功しました。（万兵衛はけちで夜の読書の際の燈油をけちっていたので）

【農村復興の道へ】

その手法を生かし近親者の家政再建を行ったほか、奉公に出た小田原藩の家老、服部十郎兵衛家で「五所常講」という金融互助制度をはじめ、服部家の立て直しを依頼されるなど（のちの信用組合のはしり）、その才覚を表してきました。

【五常講の発案とは】

五常講とは、集団で連帯保証を持つ金融制度であり互助組織です。互いに信頼してお金を貸し借りする、信用組合の走り。農協、漁協などの協同組合のルーツ。五常講とは儒教でいう「仁、義、礼、智、信」の五つの徳目を表します。

- ・困っている人にお金をかすのは仁（思いやり）
- ・それを返すのが義（ルールを守る）
- ・利子を付けるのは礼（マナー）
- ・そのために工夫するのが智（知恵）
- ・こういう関係で結ばれているのが信（信頼）

やがて、そのすぐれた発想と実践力が小田原藩主・大久保忠真から見込まれ、財政難に苦しむ藩主の身内である旗本の野州下野の国桜町領の財政再建を託されます。（現栃木県真岡市）

1834 年から日本中で天保の大飢饉があり日本中で大凶作となってしまう飢えが蔓延しますが、尊徳はその予兆を感じて備蓄してあり桜町は飢饉を乗り越える事が出来ました。しかし、小田原では 4 万人もの人達が飢えに苦しんでいました。

1836 年救済を命じられた。

桜町領再建は苦節 10 年の難事業でしたが、立て直しに成功をいたしました。（西暦 1842 年）自らは一銭の報酬も受け取らなかったそうです。険しい道の間を経て、財政再建を成し遂げた金次郎の下には、次々と救済、再興再建の依頼が続

き、自ら仕法を施すと共に、その手法を伝えていくことで、より多くの領地、村々の復興再建に尽力していったのです。

天保 13 年(西暦 1842 年)には幕臣となり、各地での仕法を命じられる尊徳には休まるところなく、広く村々の人々の救済に力を注いでいくのでありました。(1842 年 55 歳尊徳は幕府に普請役として、印旛沼の開拓と利根川の利水を幕府に打診しますが、当時の老中・水野忠邦の失脚より頓挫中止となりました。)

【1844 年 57 歳

日光神領の復興を命じられる】(弘化 1)日光仕法雛形を作成、一家、一村、一藩再建のために指導者となり、尊徳法の指導は小田原藩領のほか日光神領、烏山、下館、相馬各藩まで改革仕法を施しました。幕府から日光神領八十九か村の開発か、中々命令が下りず 1853 年(9 年後)尊徳 67 歳のときであった。病の身であったにもかかわらず、実状にあわせた仕法を実践するため、村々まで足を運び全身全霊で事業の推進に取り組みましたが、1853 年下野国今市陣屋で終焉となりました。(享年 70 歳)

尊徳の人生の集大成であった日光仕法は、その後息子与太郎と、門弟の富田高慶らに継承されました。

【尊徳の考えと教え】

至誠:嘘いつわりのない真心のこと。尊徳の生き方すべてを貫いている精神。

勤労:自分や地域の向上のために、自分にできる仕事にはげむこと。

分度:自分の置かれた状況や立場にふさわしい生活をおくること。

推譲:分度によって生まれた力やお金を自分の将来や社会に譲ること。

日光市の人々は尊徳の「報徳思想」「報徳の教え」の考えや教えを実践し、まちづくりに生かそうとする団体が活動しています。以上職業奉仕に係る内容で話しましたがどうでしたか。

ご清聴ありがとうございました。

近隣クラブ例会日		例会場
火曜日	四街道 R.C	四街道ゴルフクラブ
火曜日	八千代中央 R.C	ウィシュトンホテル・ユーカリ
水曜日	習志野 R.C	習志野商工会議所会館
水曜日	佐倉中央 R.C	第 1 ウィシュトンホテル・ユーカリ第 3 夜間オリバート
木曜日	佐倉 R.C	フランス料理 シェ・ムラ
木曜日	習志野中央 R.C	習志野商工会議所会館

♪次年度会員名簿 写真撮影 小村会員 ありがとうございます♪



～ニコニコ BOX～

¥10,000-

☆日下部さん卓話楽しみにしています☆

君塚・鈴木・杉・遠藤・風間・飯田

浅野正幸

☆親睦旅行お世話になりました☆

君塚・渡邊

☆親睦旅行お土産有難うございます☆

植村・鈴木

～友愛 BOX～

¥44,000-

☆59 歳になりました。

有難うございます！！ 朝戸

☆結婚記念日永年で忘れていました。

有難う。 宮田

☆毎日楽しく過ごしています。 江口

☆本日は宜しくお願い致します。日下部

☆日下部会員卓話宜しくお願いします☆

中村・菊川・山浦・花島・佐々木・及川

江頭・古川・三井

☆旅行楽しんできて下さい。 三井

☆親睦旅行有難うございました☆

池田・中村・上代・安宅・飯生・石渡

☆お土産ありがとうございました☆

山崎・松戸・三井・佐久間

☆旅行行けず失礼しました。娘のホストファミリーが来日してアテンドしました。その節は本

当にありがとうございました。 稲山

☆メルボルン国際大会に出発だ。

土産話にご期待下さい。 佐野

	会員 総数	出席	出席者	%
5 / 26	5 4	4 9	4 4	89.80

6 月のロータリーレート 1 ドル ¥ 1 4 0 -

■クラブ広報委員会 委員長:田村隆治 副委員長:久土地 剛

■出席委員長 山浦恭宏※欠席の際は必ず火曜日迄に出席委員長に連絡して下さい

■例会日 金曜日 12:30~13:30 ■例会場 パッツ・ナヴィータ(〒276-0049 八千代市緑が丘 1-1-1